

第 24 期（令和 7 年度）

事業報告書

自 令和 7 年 4 月 1 日

至 令和 8 年 3 月 31 日

社会福祉法人 炉暖会

令和7年度 社会福祉法人炉暖会 事業報告

特別養護老人ホーム炉暖の郷 かなおか地域包括支援センター

※認知症カフェ毎月開催

※フレイル予防教室=フレイルチェック

	法人運営	施設運営	外部活動	かなおか包括
4月		お花見外出 職員大会	ヤクルト贈呈式 六施設施設長会議 (さつき園)	つながる会議 地域ケア個別会議 認知症サポーター養成講座 チームオレンジ活動 認知症カフェ
5月	法人監事監査	バルサン害虫駆除		フレイル予防教室 認知症カフェ 地域つながる会議総会 フレイルサポーター養成講座
6月	法人理事会 法人評議員会	生産性向上委員会	沼津市特養連絡協議会 沼津市福祉施設運営協議会	フレイル予防教室 地域ケア個別会議 認知症カフェ 地域研修
7月		七夕祭り 職員ボーリング大会	東部老協総会	フレイル予防教室 介護予防教室(寿サロン) 認知症カフェ
8月		慰霊祭	市指定管理者会議	地域ケア会議 認知症カフェ 包括中間評価
9月	法人理事会	施設敬老会 職員定期異動 生産性向上委員会		フレイル予防教室 認知症カフェ アルツハイマーデー啓発活動
10月	法人評議員会 居宅介護支援運営指導 機関誌発行	炉暖祭		認知症カフェ フレイル予防教室
11月	水道水立ち入り検査	遠足 防災訓練 インフルエンザ予防接種	県老協防災訓練	フレイル予防教室 地域ケア個別会議 地域ケア会議 認知症カフェ
12月	法人監査	クリスマス会(各フロア) 餅つき 大掃除 生産性向上委員会	県病院協会感染指導	フレイル予防教室 フレイルサポーター会議 チームオレンジ活動 認知症カフェ
1月	法人理事会 法人評議員会 機関誌発行	炉暖会 新年会	六施設施設長研修	地域ケア会議 オレンジ活動リーダー会議 包括支援センター監査
2月	かなおか圏域 居宅介護支援事業所 事例検討会	豆まき	老協東部支部総会 経営協セミナー	フレイル予防教室 認知症カフェ ママレードづくり
3月	法人理事会 法人評議員会	家族会 職員定期異動 生産性向上委員会 電気設備年次点検	県老協総会	フレイル予防教室 認知症カフェ

※ 施設運営活動として、他に各フロアでの季節の行事、毎月のお楽しみ食、お誕生会メニュー等の行事食の提供。
理美容、音楽療法の実施。

職員研修は各所属団体主催のweb研修や『サクラボ』『お茶の水ケアサービス学院』のフォローアップ研修を実施
※ し、各部門ごとに必要な研修に積極的に参加した。

今年度は生産性向上に力を入れ、生産性向上委員会を中心にマニュアルの見直し、職場環境の改善などを行った。

令和7年度 事業報告

特別養護老人ホーム 炉暖の郷

【実績】

事業実績は当初予算対比+19,243 千円となりました。年間稼働率が前年度より+1.1%の97.5%だった為、前年度対比は+9,895 千円でした。

入退所状況では年間入所者数 35 名、退所者数 34 名となっております。退所者を見ると施設でご逝去されたご利用者様が 27 名、医療機関でご逝去されたご利用者様が 3 名、医療機関入院のまま帰所できなかった方 3 名、他施設へ入居された方が 1 名となっております。医療行為増加傾向は変わりませんが、施設での看取りが大多数を占めました。

男女比率では男性 3 割、女性 7 割と近年の比率を維持しています。年齢別ですと最高齢は 104 歳、最年少は 53 歳で平均年齢は 85.6 歳となっております最も多い年代は 90 歳～94 歳でした。

今年度は比較的退所者が少なく空床発生時も迅速な入所調整ができた為、年間を通じて安定した稼働状況を維持することができ、予算を上回ることができました。しかし年度終わりは退所者数が入所待機者数を上回り、空床を埋めることができませんでした。

近隣の特養や有料老人ホームの増加により、入所待機者の獲得競争が激化している現状は数年変わりなく、今後も続いていくと予想され大きな課題となっております。

【活動】

その人らしい生活の継続を目指し、ユニット単位で趣向を凝らした食のイベントを企画しました。利用者様自身が最後に盛り付けや仕上げを行う機会を設け、選ぶ楽しみや自分の手で仕上げる喜びを味わってもらいました。また毎年開催される炉暖祭や施設外へ出かける遠足など季節を感じるイベントを多数実施しました。職員も全力で楽しみ共に盛り上げることで、利用者様と職員の絆が深まり施設全体が活気あふれる場となりました。

職員の資質向上の為、年度初めに策定した年間研修計画に基づき職員研修も開催しました。シフト調整や開催時間等の工夫により全職員が受講できる体制を整えました。法定研修に加え専門性を高めるスキルアップ研修を継続したことで、ケアの質が底上げされました。

令和7年度 事業報告

ショートステイ 炉暖の郷

【実績】

事業実績は当初予算対比-7,664千円となりました。年間稼働率も前年度より-3.5%の68.5%でしたが、保留等あり実績（請求ベース）では前年度対比+33千円でした。

平均介護度は2.5となっており83名の方にご利用いただきました。22名の方はロング利用されそのうち併設の特養には12名の利用者様が入所されました。

競合他施設の増加に伴い、非常に厳しい競争環境が続いております。利用希望者の選択肢の多様化により従来通りの集客手法では稼働率の維持が困難な状況にあります。居宅介護支援事業所への定期的な訪問も継続しつつ包括病棟から在宅に戻ることなく特養等入所待ちで利用される利用者様も増えているため、病院とも関係構築を強化していく必要があります。サービス品質の向上と情報発信は継続的な課題となっています。

【活動】

毎日のレクリエーションに加え、利用者の皆様に季節感や生活の楽しみを感じていただけるよう、月に一度「お楽しみ食」を実施しました。職員の主導だけでなく、利用者様と職員が協働して手作りおやつ等を作る工程を設けることで、手先の活性化や役割意識を持つこと、他者との交流を促進する貴重な機会となっております。

また多様なニーズを持つ利用者様に柔軟に対応するため、職員の資質向上として毎月欠かさず職員研修を開催しました。定期的な学習機会を設けることで職員の危機管理意識等が高まり、より安全な見守り体制とケアの標準化につなげることができました。

令和7年度 事業報告

デイサービスセンター 炉暖の郷

【実績】

事業実績は当初予算対比-18,846千円となりました。年間稼働率も前年度より-7.2%の53.8%だったため前年度対比でも-7,791千円でした。

平均介護度は1.4となっており72名の方にご利用いただきました。今まで日曜日のみ定休日でしたが、2月からは土曜日も定休日となり営業日が少なくなったことも予算達成できなかつた要因の一つです。

今年度は利用者様の重度化や生活環境の変化が顕著に現れた年となりました。長年ご利用いただいていた方の心身状態の重度化に伴い入院や施設入所が相次いだり、ショートステイや小規模多機能型居宅介護への切り替えや体調不良等により利用回数が伸び悩みました。また近隣エリアにおける競合事業者の増加や特定のニーズ（リハビリ特化型や短時間利用等）とのミスマッチにより、新規問い合わせから実際の利用契約に結び付く割合が低迷しているのが現状です。今後は当施設ならではの強みを再確認しケアマネ等が紹介しやすい選ばれる理由を明確に打ち出すことが課題となっています。

【活動】

習字の会や恒例のカラオケ大会・日替わりのレクリエーションを通じ、利用者様同士の交流と心身の活性化を図りました。また季節を感じていただけるよう花見外出なども実施し利用者様にとってもリフレッシュの時間となりました。また質の高いケアを安定的に提供するため、職員のスキルアップにも注力しました。研修を計画的に実施し、専門知識の習得やケアの標準化をはかり、より安全で質の高いサービス提供体制を整えました。

令和7年度 事業報告

かなおか地域包括支援センター

【実績】

稼働率	請求総数 4058 件（新規 144 件） 委託： 2632 件（初回加算 126 件 委託連携加算 137 件） 直： 1426 件（新規件 18）
利用者数の増減	新規相談受付 406 件（昨年度より 19 件減）
平均介護度	要支援 1 または 2 事業対象者のみ

予算達成・未達の原因

- ・介護予防支援事業所請求件数は、年々請求総数が増加している
- ・新規で委託する数は増加しており、委託の請求件数も増加している
- ・新規相談者が数的減少となっているがカウントミス等も考えられ正確な業務把握は課題
- ・総合相談の内容は多岐にわたり、高齢者の問題だけで解決しないケースが増加
多職種連携の場面が散在した
- ・地域ケア会議・認知症初期支援集中チーム員会議・フレイル（介護予防）促進事業・認知症カフェ・家族介護教室の運営費用は委託費用内で実施できた

【活動】

主な事業

総合相談事業：新規相談受付窓口機能 新規相談 406 件

介護予防ケアマネジメント事業：介護予防ケアマネジメント

フレイル（介護予防）促進事業

フレイルチェック（中央開催・地域開催）

フレイルサポーター支援

フレイルサポーター会議

介護予防事業（派遣型介護予防教室）

継続的・包括的ケアマネジメント：地域ケア会議・圏域ケアマネ支援

地域つながる会議 ウェブ会議・研修

権利擁護：虐待・成年後見・消費者被害への対応と予防啓発

認知症関連事業：（認知症地域支援推進員活動）

認知症サポーター養成講座（金岡地区社協福祉部）

チームオレンジかなおか持ち寄り会議

・アルツハイマーデーを利用した認知症理解について啓発
方法の検討と実施

かなおかコミュニティ祭りへの出展

・ママレードづくり

認知症カフェ（かなおかふえ） 月1回

認知症の正しい理解の啓発 9月アルツハイマー月間にて
講演「リラックスハンドケア・男性介護者からのメッセージ」

認知症初期支援集中チーム 月1回

職員研修等（事業計画目標に対しての達成等の可否も含む）

・所内会議の実施

困難事例 ケースカンファレンス

事業計画の半期ごとの評価

予定業務の内容・進行の確認と役割分担

・所内研修

災害時の動きについて

ハラスメント対応について

重層的支援体制整備事業（伝達研修）

アウトリーチ研修

引きこもり（8050）世帯への対応と連携

令和7年度 事業報告

居宅介護支援事業 炉暖の郷

【実績】

予算 19,077 千円に対して、実績 20,315 千円(請求ベース)で 1,238 千円のプラス実績となりました。

事業体制は専従ケアマネ 5 名、特定事業所加算Ⅱで実施しています。

年間の利用者数は 1782 人で介護 1010 人、予防 772 人。月平均ケアマネ一人当たり 28 人でした。

【活動】

10 月 8 日沼津市より実地指導を受けましたが、指摘事項・助言事項ともに「なし」となりました。

事業は年度を通じて特定事業所加算Ⅱを算定し安定した事業を運営出来ました。また近年国より生産性向上を求められており介護保険情報のシステム「ケアプランデータ連携システム」について今後の普及を考慮し導入しております。

地域連携として地域の居宅に呼びかけ事例検討会を毎年開催していますが、本年も会場を炉暖にて R8 年 2 月 17 日開催しています。

次年度も生産性向上のための業務改善に注力し安定的な利用者を担当し事業運営を行ってゆければと考えます。